

2020年第1回ABAC(シドニー)会議ニュースリリース【仮訳】

豪州 シドニー
2020年2月15日

混乱の時代のなか、統合と包摂を実現

今週、アジア太平洋地域のビジネスリーダーが豪州シドニーに集まり、地域における統合、イノベーション、包摂に関する共通目標をいかに上手く推進するかについて APEC 高級実務者に働きかけることを含めて、今後1年の活動予定について議論した。

「われわれは、地政学的状況、貿易および市場、経済的不平等、デジタル経済、そして、物理的環境のなかでさえ、混乱と不安定を目の当たりにしている」と、ダトー・ロハナ・マハムード ABAC 議長は述べた。「一つ明らかなのは、これらの課題を乗り越えるためには、われわれは地域レベルの協力を一層必要とするということである。これが、今週の年次対話での高級実務者に対するわれわれの主要なメッセージであった」とダトー・ロハナ議長は付け加えた。

議長は、ABAC は本年の APEC 首脳会議までにまとめられる「ポスト 2020 年の APEC ビジョン」の一部として、これらの課題への長期的な解決策を見つけようと思っていると述べた。ABAC は、アジア太平洋自由貿易圏によって裏打ちされ、そして人を中心とした、継ぎ目なく統合され、活気に満ち、強靱で包摂的かつ持続可能なアジア太平洋経済コミュニティを追求するつもりである。

その一方、ABAC 委員は、WTO への強力な支持を繰り返し述べた。「本年半ばの WTO 閣僚会合は WTO ルールの改革および紛争解決機能の行き詰まり解決に関して前進する重要な機会を意味する。零細企業や新興国が輸出を拡大するにつれ、これは重要になっている。これは、多国間のルールに基づく貿易体制は、現代のエコノミーの全ての者に関係するものであり、また有効なものであり続けることを意味するだろう」とダトー・ロハナ議長は付け加えた。

さらに、ダトー・ロハナ議長は、経済界がリーダーシップをとって、気候変動の影響を緩和し、低排出経済への移行の先頭に立つことの重要性を強調した。「本件に関し経済界は、今後の方針を打ち立てるのを支援するという重要な役割を担っている。経済界の者として、われわれは、複雑な問題を簡単にし、革新的な解決策を見つけることに長けている」とダトー・ロハナ議長は述べた。「われわれはこの問題について現実に貢献できるのである。」

デジタル経済に関して、議長は、イノベーションがしやすく、強靱で、サイバーセキュリティ面で優れたデジタルエコシステムを作ることは、地域における女性、先住民コミュニティ、零細・中小企業（MSMEs）を含む、十分なサービスを受けられないグループの成長を解放つうえで最善の方法であることを ABAC として確信し続けていると述べた。「われわれは、人工知能(AI)のような新たな技術の出現に直面し、APEC の各国・地域に対し、AI の発展と倫理の普及のための環境を作るよう備えさせる必要がある」とダトー・ロハナ議長は付け加えた。

これらの取り組みを支えることは、APEC のすべての国・地域の強靱性を増すために進行する構造改革にとって必要なものであった。

「シドニーで、われわれは野心的・進歩的なアジェンダおよび作業プログラムを打ち立てた。これは、11月のクアラルンプールにおける APEC 首脳会議に向けて、年間を通してわれわれを導くものとなるだろう。同首脳会議においては、われわれは APEC の国・地域の指導者たちに対し助言を直接提示するつもりである」とダトー・ロハナ議長は結論づけた。

以上